

広報

みなみいず

2016

1

No.547

伊豆国立公園

波崎岬

謹賀新年

良い1年に

なりますように



新年のごあいさつ

21世紀

わたしたちの住むまち

あなたと造るまち

南伊豆町長 梅本和熙

輝かしき、新年あけましておめでとうございます。町民の皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今年^{ことわざ}は申年、申年の諺に「猿の木登り、カニの横這い」があります。自然に逆らわず行動することだそうですね。「猿の水練、魚の木登り」という諺は全く見当違いのことをすることだそうです。

今年「猿の木登り、カニの横這い」で「猿の水練、魚の木登り」にならないように頑張ります。相場格言では「申酉騒ぐ」で景気がよくなる期待が持てます。

つきましては、新年にあたり、初心に帰り、今日まで進めてまいりました政策のご報告とさらに今年、進めるべきことについて申し上げます。

1 石廊崎ジャングルパーク跡地等の観光開発

石廊崎ジャングルパークは平成16年4月に閉園し、平成19年3月に訴訟が提起されて、紆余曲折の後平成25年9月の和解をもって終了しました。その後、平成25年11月22日に第1回石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画策定ワークショップを開催し、平成26年3月25日の第7回目のワークショップで利用構想提言書が決定されました。

提言書の決定を受けて、平成27年3月25日に石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画審議会から石

廊崎ジャングルパーク跡地利用基本計画(案)の提出を受けました。答申の趣旨は「誰もが行きたくなくなる石廊崎」でした。

現在、基本計画(案)を検討・精査するとともに、石廊崎区と意見交換を進め、平成28年度中に実施設計を、翌29年度の事業着手など、早期着工に向けて取り組んでいます。

2 杉並区の特別養護老人ホームの建設

平成23年度末に杉並区立南伊豆健康学園が廃園されたことにより、杉並区は平成25年6月13日、高齢者施策についてのなかで、南伊豆町への保養地型特養構想を発表しました。南伊豆町も杉並区の保養地型特養構想に賛同し、共同して実現を目指すことにしました。その後、田中良杉並区長と厚生労働省へと何度も通い、厚生労働省からは自治体間連携の特に強い特例として、特別養護老人ホームの整備を認める旨の承諾を得ました。そして静岡県・杉並区と事務レベルでの調整を経て、平成26年12月13日に全国で初となる「自治体間連携による特別養護老人ホームの整備に関する基本合意書」を静岡県・杉並区・南伊豆町で締結しました。

さらに、平成27年3月27日には、施設の規模や整備方法に関する覚書を静岡県・杉並区と締結しました。建設予定地は加納の元中央

公民館跡地で、定員90人の特養と定員10人のショートステイ施設並びに町の健康福祉センターを一体的に整備する内容です。今般、設置運営法人を平成27年8月31日にプロポーザル方式により選定した結果、社会福祉法人梓友会を選定しました。平成29年度末の開設を予定しています。

3 「健康福祉センター」の建設

健康福祉センターの建設は、私の選挙公約であり、平成26年5月24日、翌25日に第1回南伊豆町健康福祉センター建設ワークショップを開催し、同年7月31日までに5回のワークショップを行いました。同時並行で同年6月17日に第1回目の健康福祉センター建設検討委員会が開催され、同年8月22日までに3回の委員会を行い、最終回である同日、「南伊豆町健康福祉センターの整備に関する提言」が提出されました。

基本的な考え方は、「南伊豆町民の健康増進と福祉サービスの向上に資するための施設」として、乳幼児から高齢者を対象にした健康、福祉、子育て支援等、地域包括ケアの拠点施設として特養と同時に開設する予定です。

南伊豆町は高齢者サロンや認知症百万人キャラバンの先進地であり、今後より一層福祉の充実した町にしていきたいと考えております。

4 自然再生可能エネルギー (地熱資源等の活用)

平成22年「緑の分権改革」推進事業によって、平成22年10月27日に第1回南伊豆町新エネルギー利活用検討委員会が開催され、環境省の委託業者東電設計(株)は、平成23年度に加納地区で深度695メートルの掘削調査を行い、高温温泉水の上昇流体の深部構造を確認し、温泉湧出メカニズムを解明するための研究を実施しました。その報告書の中で「このプロジェクトの目的である温泉と地熱発電の共生を図るために、地下深部の地熱情報を掘削調査により直接確認すること、既存の温泉モニタリングや地表からの探査を行うこと等により、より精度の高い地熱系モデルを構築し、温泉の湧出メカニズムを詳細に把握することが、温泉利用を中心とした地熱利用計画を策定する上でも重要であります。したがって、発電所計画については、地下深部の地熱構造など不明な点が多いため、詳細な検討はこれらが解明されてからとすることが望ましいと考える。」との報告がありました。

その後、町民と南伊豆町温泉協同組合の同意のもとに資源エネルギー庁の平成26年度地熱開発理解促進関連事業支援補助金(以下「理解補助金」という。)約8,300万円及び独立行政法人石油天然ガス金属鉱物資源機構の地熱資源開発調査事業費助成金(以下「開発補助金」という。)約9,700万円を申請し、補助を受け、平成26年度は理解補助金で地熱理解促進のための研修や研究及び勉強会を、調査補助金で地表調査や文献調査等を実施しました。今年度は理解補助金が約500万円、開発補助金が約3,600万円でした。理解補助金で、昨年度と同様に地熱理解促進のための研修や研究及び勉強会を、開発補助金では、昨年度の地表調

査の解析結果から究明できなかったことをより詳しく再解析、究明いたしているところであります。

なお、両補助金は100%国の補助です。これまでの国からの補助金総額は223,073,605円となります。さらに、今年度は、全国の17地域が環境省の「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン策定事業に選定されましたが、南伊豆町も申請をして「温泉等活用による低炭素のまち・南伊豆」をテーマに選定されました。環境省から委託事業者が1,500万円の補助を受けて、事業を推進します。

また、低炭素社会の実現や再生可能エネルギーを確保するための一環として、国は地熱発電を普及させるために、発電設備付近の温泉事業者に温泉の湯量を保障する仕組みを新設しました。国のエネルギー政策の方向性を示すものです。

さらに、木材を利用したバイオマス発電についても検討を始め、里山の整備や有害鳥獣被害対策も併せ、電気の地産地消が可能となった時には、エネルギーミックスのエネルギーの利用をするスマートシティを目指します。

5 日本版CCRC※1、生涯活躍の町～ワープステイ(夢を語り合うことのできる町)～お試し移住

地方創生が叫ばれています。東京一極集中によって、地方が減び、都市部も消滅する危機が日本創成会議・人口減少問題検討分科会で指摘されました。提言の出る前から、「夢を語り合うことのできる町」としてワープステイを提唱してきました。ワープステイとは、都市部のアクティブシニアに5年間を限度に地方移住してもらう構想で、この南伊豆町ワープタウン・プロジェクトを成功させるために、思索を練っております。

昨年10月に入りまして、弓ヶ浜

の共立湊病院跡地と杉並区有地を活用するお試し移住構想が「アクティブシニアのヘルスアップ・ステイ及び広域連携による日本版CCRC事業」、「温泉・地熱資源の活用を中心とした南伊豆健康ブランドの創出事業」として国の地方創生広域連携上乘せ交付金の採択を受けました。

これから年度末にかけて、総合的な人口ビジョン及び総合戦略のほか、具体的な自治体間連携型CCRCの事業計画を策定し、その内容を以って当町の地方創生事業が、国のモデルケースとなることを目指すこととなります。

さらにそのことにより、杉並区との連携による都市部の高齢化対策の施策が、国も強力に進めている地方創生の全国の自治体間連携のモデルとなるように今後も施策を遂行してまいります。

6 その他

今後の南伊豆町発展を思索・検討するために、まち・ひと・しごと創生による人口ビジョン及び総合戦略を策定するため「百人委員会」を設置しました。そこでの討論・検討を受けて、南伊豆町人口ビジョン及び南伊豆町総合戦略を3月中旬に策定します。

最後になりますが、私の政治信条であります町民参加型町政「町民の町民による町民のための政治」を実現するため「いつでもどこでもミニ集会」を今後も開催していきますので、皆さまのご連絡を、首を長くしてお待ちしております。

以上、年頭にあたり、当面する課題や抱負を申し上げました。

本年も旧年と変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。

※1 高齢者地域共同体(コミュニティ)のことで、健常時にある地域に移り住み、その地域で健康でアクティブな生活を送ること。

12月定例町議会



南伊豆町議会12月定例会が12月2日から3日まで開催され、「南伊豆町個人番号の利用等に関する条例制定について」などが原案どおり可決されました。

行政報告（要旨）

フェスタ南伊豆

10月18日、南伊豆町役場において「第12回フェスタ南伊豆」が開催されました。当日は、秋の心地よい日差しのもと、約20団体がブースを出店し、小学生による愛国模範の模擬販売等もあり、数多くの来場者でにぎわいました。

また、姉妹都市塩尻市の皆様にも、白菜等新鮮な高原野菜を沢山ご用意し、駆けつけていただきました。

今回は、交流自治体である杉並区からも高円寺阿波踊り連の皆様のご参加をいただき、会場を下賀茂商店街にまで広げて、地元園児、小中学生、阿波踊り「ゆうすげ連」も加わり、大いに地域を盛り上げていただきました。

地熱資源の活用

地熱資源の活用における地熱開発理解促進関連事業については、これまでに温泉事業利害関係者を中心とした会議を4回、産業団体等を中心とした会議を1回、計5回の会議のほか勉強会を開催してまいりました。

地熱資源開発調査事業については、現在、昨年度収集したデータの数値再解析を続けているところ

ですが、11月までの解析中間経過などから、加納、下賀茂地内のそれぞれ1箇所ずつが、ボーリング調査候補地として有力ではないかといった段階まで絞りこまれてきている状況です。

自治体クラウド推進協議会

10月5日、賀茂郡4町において、「河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町自治体クラウド推進協議会」を設立いたしました。

当協議会において、クラウド技術を活用した情報システムの共同化によるコスト削減、業務の効率化などについての具体的な取組み、データのバックアップの確保、災害発生時の業務の継続性及び情報セキュリティの向上など災害等に強い基盤構築を進めてまいります。

ジャングルパーク跡地利用計画

石廊崎ジャングルパーク跡地の再生につきましては、昨年度末に提出された基本計画（案）答申趣旨の具体化に向けて、地域の意向を改めて確認いたしましたところ、「灯台周辺について、駐車場も含めて、休憩所、トイレ等を整備し、石廊崎漁港内の駐車場、土産物屋、遊覧船事業等との共存を図りたい。」というご意見を伺ったところでありました。

このような地域の意向も加味し、平成28年度中には実施設計を完了させ、平成29年度の事業着手など、早期着工に向けて取組んでまいりたいと考えております。

杉並区との自治体間連携

11月6日（金）東京都杉並区において、名寄市、南相馬市、青梅市、小千谷市、東吾妻町、北塩原村、忍野村、南伊豆町の9自治体が一堂に会し、「第2回地方創生・交流自治体連携フォーラム」が開催され、各市町村の総合戦略の策定状況が発表されました。

また、10月末には、弓ヶ浜の共立湊病院跡地と杉並区有地を活用するお試し移住構想が「アクティブシニアのヘルスアップステイ及び広域連携による日本版C R C事業」、「温泉・地熱資源の活用を中心とした南伊豆健康ブランドの創出事業」として、国の地方創生広域連携上乗せ交付金の採択を受けたところです。

賀茂地域広域連携会議の進捗状況

下田市及び賀茂郡内の各首長、静岡県伊豆半島担当副知事からなる「賀茂地域広域連携会議」は、10月末までに5回の会議を開催いたしました。

この会には、「消費生活セン

ターの共同設置」、「教育委員会の共同設置」、「税の徴収事務の共同処理」、「監査事務の共同化」、「災害時における人的・技術的支援体制の構築」、「地籍調査の共同実施」、「地域包括ケアシステムの構築・運用」、「官民・民民の連携」を検討する8部会が設置され、各市町の担当部局が部会ごとに調整会議を進めているところであります。

現在、「消費生活センターの共同設置」及び「税の徴収事務の共同処理」について具体的な方向性が確定し、新年度において2つの新しい組織が運用を開始する予定です。

産業振興等

1 イベント等について

10月11日、「第2回南伊豆・弓ヶ浜アクアスロン大会」が開催され、3部門に128人の選手が参加いたしました。

また、11月14日には青野川ふるさと公園をスタート・ゴールとして、「第2回南伊豆町100km・70kmみちくさウルトラマラソン」が開催され、当日は、不安定な天候でしたが592人の選手がエントリーいたしました。

町民の皆様には、走路員やエイドステーションなどの競技運営ボランティアをはじめとして、沿道からの応援などにもご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

2 世界ジオパーク認定について

「伊豆半島ジオパーク」の世界ジオパークネットワークへの加盟に

ついては、去る9月19日にアジア太平洋ジオパークネットワークで審査され、「保留」という結果となりました。

認定保留の理由となった課題解消には相応の時間が必要となることや、審査機関が世界ジオパークネットワーク（GGN）から国連教育科学文化機構（ユネスコ）に変更となる見通しであることなどに伴い、早期加盟は極めて厳しい状況ですが、今後も、世界ジオパークネットワーク認定を目指し、伊豆半島ジオパーク推進協議会を中心として、静岡県をはじめ参加各市町が連携を図り、「伊豆半島ジオパーク」の推進に取り組んでまいります。

3 観光施設等の入込状況について

4月から10月末における観光施設等の入込み状況がまとまりましたのでご報告いたします。

主要観光施設につきましては、昨年度中の施設の閉園等により82,635人で前年度対比97.67%となりました。

また、宿泊客数につきましては、民宿が42,749人で前年度対比102.15%、旅館が87,831人で102.33%、全体で102.27%となり、前年度を上回る結果となりました。

滞納処分強化対策

町税等の滞納処分については、静岡県短期派遣職員による支援のほか、滞納整理機構との連携強化により年度当初から鋭意取り組んでおります。

また、静岡県及び県下35市町に

おいては、静岡県個人住民税徴収対策本部を組織し収納率向上を図っており、特に11月から12月の2か月間を滞納整理強化月間と定め、徴収体制の強化に取り組んでいるところであります。

この強化期間では、催告書の送付、納税相談、差押等の滞納処分はもとより、新規滞納案件を中心に電話による納税勧奨を集中的に実施するとともに、年度末に向けて更なる徴収率の向上と、税負担の公平性の確保に努めてまいります。

南伊豆町津波対策検討会 (地区協議会)

静岡県では、第4次被害想定に基づくレベル1の津波想定高をもとに、県下21市町において津波対策検討会（地区協議会）を設置し、津波による人的被害の8割軽減を目途とした「静岡モデル」を推進しております。

本町においては、下田土木事務所が主管となり、11月6日の南崎地区を皮切りに、三坂・竹麻・三浜の順に地区協議会を開催いたしました。

第1回目となる地区協議会においては、同協議会設立の目的と津波対策の進め方、協議会組織にかかる運営要領の策定のほか、各地区における津波想定高の状況などが報告されました。

今後は、津波防御施設等の整備手法が協議され、住民合意に基づく諸条件等が整った地域から、既存の防災林・道路・防潮堤の嵩上げ及び補強、水門・避難路・避難用施設等の整備計画が策定されることとなります。

また、町単独による津波対策事業では、レベル2の津波想定高に基づき、海岸13地区の津波避難計画を策定中でありますので、静岡モデルとの整合性を図りつつ、地区住民の安全確保と津波被害の更なる軽減に向けて事業を推進してまいります。

観光施設等の入込状況（4月～10月）

区分	平成27年度(人)	平成26年度(人)	前年度比(%)
宿泊施設	130,580	127,685	102.27
観光施設	82,635	84,604	97.67
温泉施設	37,284	68,688	54.28
合計	250,499	280,977	89.15



第16回

し
ず
お
か

市
町
対
抗
駅
伝

郷土の思いを胸に駿河路を駆け抜ける

12月5日（土）、しずおか市町対抗駅伝が静岡市で開催されました。南伊豆町チームは、町の部で9位（合計タイム2時間30分52秒）でした。昨年より4分12秒もタイムを縮めてゴールしました。

これは、7月から練習を一生懸命頑張った選手たちの努力の結晶です。また、サポートしてくれたチームメイトや沿道に駆けつけてくれた皆さんの声援が力となった結果だと思えます。

また、駅伝大会終了後に行われた小学生1,500m走でも、小学生男女の選手が、駅伝選手に引けをとらない見事な走りを見せてくれました。

選手の皆さん、お疲れさまでした。

【撮影協力】川根本町、吉田町、藤枝市、小山町、御前崎市、富士宮市、菊川市、松崎町、牧之原市





1区
山下 夕月



2区
大塚 翔

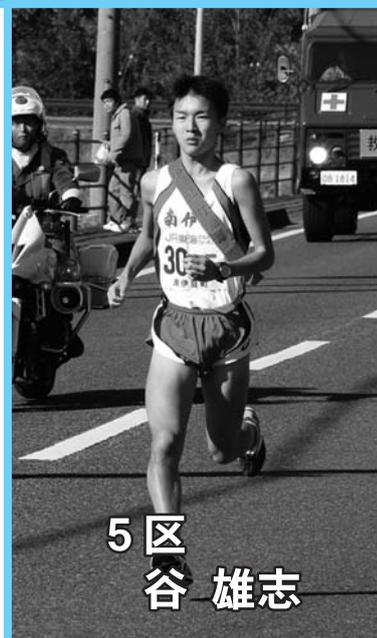


3区
齋藤 花帆



4区
佐藤 愛

	氏名	距離	記録	区間 順位
1区	山下 夕月	3.974km	15分41秒	10
2区	大塚 翔	1.848km	6分46秒	11
3区	齋藤 花帆	1.469km	5分29秒	9
4区	佐藤 愛	3.549km	15分12秒	12
5区	谷 雄志	6.478km	20分40秒	6
6区	笠井 慎	4.288km	14分26秒	4
7区	志津 優騎	3.564km	11分50秒	4
8区	杉山佳菜子	3.020km	12分37秒	10
9区	山本 麻衣	4.670km	18分19秒	9
10区	土屋 亮太	4.310km	14分12秒	8
11区	鈴木 勝弓	5.025km	15分40秒	9
1,500m走	秋山 葉音	1,500m	5分10秒14	5
1,500m走	渡邊 笑湖	1,500m	5分38秒31	5



5区
谷 雄志



6区
笠井 慎



10区
土屋 亮太



11区
鈴木 勝弓



ご声援
ありがとうございました！
南伊豆町代表選手一同より

高齢者肺炎球菌予防接種のお知らせ

問合せ 健康福祉課 健康係 ☎62-6233

町では、対象となる方の予防接種費用の一部を助成しています。

肺炎は、高齢者にとって重篤になりやすい病気の1つです。肺炎球菌ワクチンとは、肺炎の原因の中でも最も多い「肺炎球菌」を防ぐワクチンで、免疫効果は接種後約5年間続くといわれています。

過去に一度も肺炎球菌予防接種を受けたことがない方は、3月31日までの接種期限となっているため、この機会を逃さないようにしましょう。



助成対象者

①定期接種

○65・70・75・80・85・90・95・100歳の方

(平成28年3月31日現在)

○60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器に障害があり、障害者手帳1級を有する方

②任意接種

○上記、定期接種対象者以外で65歳以上の方

(平成28年3月31日現在)

※①、②とも過去に肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある方は助成対象外です。

実施期間

3月31日まで

自己負担額

4,000円(生活保護受給者は自己負担額なし)

その他

- 定期接種対象者には5月中旬に通知をしています。
- 任意接種を希望される方は、平成27年度に限り、接種費用の助成を受けることができます。希望される方は役場健康福祉課窓口にて申請手続きを行ってください。(手続きの際に印鑑が必要となります。)



教えてマイナンバー制度

～個人番号カードの交付について～

問合せ 町民課 住民年金係 ☎62-6222

個人番号カードは、マイナンバー(個人番号)が記載された顔写真付きのカードです。プラスチック製のICチップ付きカードで、券面に氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー(個人番号)と本人の顔写真等が表示されます。本人確認のための身分証明書として利用できるほか、e-Tax等の電子証明を利用した電子申告等でご利用いただけます。

個人番号カード交付申請の手続きをされた方へ

役場から「交付通知書(ハガキ)」が送付されますので、通知書に記載された期限までに町民課窓口へお越しください。本人確認の上、暗証番号を設定していただくと個人番号カードが交付されます。

必要書類

- 通知カード
- 交付通知書(ハガキ)
- 本人確認書類(運転免許証・旅券・健康保険証旅券・身体障害者手帳・療育手帳・在留カード・特別永住者証明書等)
- 代理権者の確認書類(15歳未満の者または成年被後見人の法定代理人のみ)
- 住民基本台帳カード(お持ちの方のみ)



ご注意ください

通知カードがお手元に届かない方は町民課までご連絡ください。

また、マイナンバーをかたった不審な電話等にご注意ください。マイナンバーの手続で国の機関や役場の職員が口座番号や暗証番号等を聞くことは一切ありません。

個人番号カード(見本)



11/26 詩のとびらをひらく



詩の魅力について授業をする田中さん

「石垣りん文学記念室」記念事業として、出版社「童話屋」編集長の田中和雄さんによる詩の授業が南中小、南伊豆中学校で開催され、生徒たちは作詩のコツを教わりながら詩の創作に励みました。

12/6 防災意識の高揚を図る



消防署員から心肺蘇生法の指導を受ける参加者

地域防災訓練が町内各地で行われました。参加者たちは消防団や消防署員から消火器を使った消火活動訓練、人工呼吸方法やAEDの使用方法について学ぶなど、防災意識の高揚を図りました。

12/7 奥石廊のココスヤシ冬支度



ヤシのこも掛け作業を行う作業員ら

奥石廊崎県道沿いのココスヤシのこも掛けが行われました。冷たい季節風と塩害からヤシを守るため、毎年行われています。わらで編んだこもは3月に外されます。

12/2 寒さに負けずマラソン大会



元気よくスタートする生徒たち

南伊豆中・南伊豆東中合同マラソン大会が青野川ふるさと公園で行われ、2校の男女計192人が出場しました。生徒たちは保護者や先生の声援を受けながら、最後まで一生懸命走り抜きました。

12/6 自分の目で確かめて



地域の方々と交流する参加者

本町への移住希望者を対象に、現地セミナーが開催されました。首都圏等から参加した8人は、地域の方々とのイベント交流会や、空き家を見学する等、自分の目で南伊豆町を確かめました。

12/9 みんなで築こう「人権」



人権イメージキャラクターによる啓発運動の様子

「人権週間」の一環として、人権擁護委員らによる啓発運動が南崎認定こども園で行われました。児童たちは、委員からみんなで仲良くするよう呼びかけられると、元気な声で返事をしていました。

今月のおすすめ

— 新着図書案内 —



「ひとりで長生きしても幸せ」
松原惇子著／海竜社

年金は下がり、税金は上がる時代。安心した最期を迎えるためには？ひとりで長生きすることの不安を取り除く秘策について探る。



「わが心のジェニファー」
浅田次郎著／小学館房

婚約者の求めで日本にやってきた米国人青年。東京、京都、大阪…。神秘のニッポンを知る旅を始めた彼を待ち受ける驚きの出来事と感涙の結末。



「戦国大名と読書」
小和田哲男著／柏書房

戦国武将の幼年時代、少年時代の教育・読書歴は、その後の人間形成にどのような影響を与えたのか。その独自性や世界観を読書遍歴から探る。



「うずら大名」
畠中恵著／集英社

御吉兆！と鳴く勇猛果敢なうずらを連れた自称“大名”の有月。泣き虫で人に振り回されてばかりの村名主・吉之助。幕府を揺るがす陰謀に挑む！



「執着 生きづらさの正体」
香山リカ著／集英社

恋人に、娘に、モノに、若さに、SNSに、女らしさに、男らしさに…なぜ執着してしまうのか？いまを生きる私たちが抱きがちな「執着」を考える



「終わった人」
内館牧子著／講談社

仕事一筋だった田代壮介は定年を迎えて途方に暮れた。「まだ俺は成仏していない」と職探しをするが…。再生の時は訪れるのか？



「レノンとジョブズ」
井口尚樹著／彩流社

父母に放棄された子、直感と変貌の人、既成のスタイルを打ち破るクリエーター。ゆえに失敗もするが、それが西洋原理の行詰りを打破する。



「プラージュ」
誉田哲也著／幻冬舎

たった一度魔が差した結果、仕事も住む場所も失った貴生。シェアハウスで人生をやり直す決意をする。そこに住む厄介者たちの物語。



「超一流の雑談力」
安田正著／文響社

一流の雑談は、人もお金も引き寄せる！「ソフトに見つめてテンポよくあいづち」「会話が終わったらすぐにメモを取る」などテクニックを紹介。



「アンタッチャブル」
馳星周著／毎日新聞社

宮澤に下った左遷人事。任務は公安のキケンな上司を見張る事。公安部の「アンタッチャブル」と落ちこぼれ刑事のコンビが爆発テロの脅威に挑む。

- | | |
|-------------|-------|
| シベリア抑留 | 長勢 了治 |
| キラキラネームの大研究 | 伊東ひとみ |
| 下流老人 | 藤田 孝典 |
| 知ってんけえ 3 | ききがきや |
| ふたり | 高山 文彦 |
| 生涯健康脳 | 瀧 靖之 |
| 山崎豊子先生の素顔 | 野上 孝子 |
| 花子とアンへの道 | 村岡 恵理 |
| 黒のコスモス少女団 | 朱川 湊人 |
| わかれ | 瀬戸内寂聴 |
| Aでない君と | 葉丸 岳 |
| 家族の哲学 | 坂口 恭平 |
| 御用船帰還せず | 相場 英雄 |
| 亡国記 | 北野 慶 |
| モンローが死んだ日 | 小池真理子 |

平成27年のベストリーダーは？

平成27年、最も多くの方に読まれた本の発表です。

★フィクション

- | | |
|---------|-------|
| 1位 峠しぐれ | 葉室 麟 |
| 2位 自覚 | 今野 敏 |
| 海鳴り | 葉室 麟 |
| 火花 | 又吉 直樹 |
| 5位 風花帖 | 葉室 麟 |

★ノンフィクション

- | | |
|----------------------|-------|
| 1位 フランス人は10着しか | |
| 服を持たない ジェニファー・L・スコット | |
| 2位 杖ことば | 五木 寛之 |
| 人は死ぬとき何を思うのか | |
| 渡辺 和子 | |
| 日本史ほんとうの偉人伝 | |
| 岳 真也 | |
| 5位 ビスケットとスコーン | |
| 砂古 玉緒 | |

* 閉架書庫所蔵の本については、現在建て替え中のため利用が出来ません。ご了承ください。

健康レシピ

豆腐ハンバーグ 野菜ソース添え



ここがポイント！



玉ねぎを良く炒めた方が、甘味が出ておいしいソースができます。

なずみかい

南豆味会（健康づくり食生活推進協議会）

▷ 材料 / 4人分 ◁ (1枚分エネルギー147kcal、塩分0.6g)

木綿豆腐……………1丁
鶏ひき肉……………60g
長ねぎ……………10cm
片栗粉……………小さじ2
A 酒……………大さじ2
塩・こしょう…少々
オリーブオイル…小さじ2
(またはサラダ油)
【付け合せ】
ゆでにんじん…60g
粉ふきいも…100g
パセリ……………適量

【野菜ソース】

B 玉ねぎ……………20g
ピーマン……………20g
赤・黄ピーマン…各20g
トマト……………60g
にんにく……………1/2かけ
塩・こしょう…少々
酢……………小さじ2
オリーブオイル…小さじ2
(またはサラダ油)

▷ 作り方 ◁

- ①ボウルに鶏ひき肉、水切りした豆腐、みじん切りにした長ねぎ、片栗粉、Aの調味料を入れて、こね、成形する。
- ②フライパンに油を熱し、①を焼く。
- ③Bとにんにくをみじん切りにする。フライパンに油を熱し、にんにくを入れ、Bをよく炒めて酢と塩・こしょうを加え、蒸し煮にする。
- ④豆腐ハンバーグに③のソースをかけ、付け合せを添える。



みなみいず探索記

地域おこし協力隊



自然との共存を考える



週末きこり体験



環境省および町の「平成27年度【低炭素・循環・自然共生】地域創生実現プラン策定事業」の一環で、(株)いしい林業さんが10月、11月に毛倉野にて林業体験を行い、11月の体験に私も参加してきました。参加者は14人、県内だけでなく都心からの参加がほとんどで、そのうち半数は女性の参加者でした。

社長から昔と今の山の状態や、林業の大変さと必要性などの話を聞いた後、チェーンソーなどを使った伐採の見学と体験へ。チェーンソーを触ること自体初めてでしたが、プロの方に指導してもらいながら実際にヒノキの伐採を。「伐採してみたい人」と希望者を募ると一番に手を挙げるのは女

性たち！私もそのうちの一人で、力には自信があったのですが、実際にチェーンソーを操るのは本当に難しく、一緒に操ってもらい、やっと伐採することができました。

その後、自然薯やモクズガニの味噌汁で昼食をとった後、薪割り、重機の操縦など、普段なかなかできない林業の仕事に触れ、山でのひとときを満喫しました。

この体験を通し、少しですが林業の大切さや大変さを感じる事ができました。南伊豆町の海や山を守るためには、このように自然に触れながら普段できない体験を通して、環境などの問題を実際に肌で感じてもらう事も必要なのかもしれません。 隊員 松原

お知らせ

南伊豆都市計画変更の縦覧

県は、県内各地域のあるべき将来像を表現する都市計画を、約5年ごとに見直しを行っています。この県と町が協議を重ねながら見直しをした計画案を下記のとおり縦覧します。

縦覧期間 1月8日(金)～22日(金)
(閉庁日を除く)

縦覧場所 建設課および県都市計画課

内容 都市計画区域の整備、開発および保全の方針の変更

意見書の提出 計画案にご意見のある方は、意見書を提出することができます。

提出期限 1月22日(金)

提出方法 建設課または県都市計画課まで郵送または持参

提出先・問合せ

建設課 管理係 ☎62-6277
静岡県都市計画課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 ☎054-221-3062

軽トラ市in南伊豆出店者募集

商工会青年部では、軽トラ市in南伊豆を開催します。たくさんのお出展者のご応募お待ちしております。

■軽トラ市

日時 2月28日(日)10:30～15:00

場所 役場駐車場

■出店者募集

出店料 2,000円(当日集金)

出店数 30店舗(上限を超えた場合は抽選)

申込締切 1月22日(金)まで

申込方法 電話またはホームページにて受付

問合せ 南伊豆町商工会 青年部
☎62-0675



環境基本計画(案)に係るパブリックコメント

町では現在、南伊豆町環境基本条例に基づく環境基本計画の策定に取り組んでいます。このたび、南伊豆町環境基本計画(案)がまとまりましたので、案に関する皆さまのご意見を募集します。

資料の入手方法

町ホームページからダウンロードまたは生活環境課で閲覧できます。

ご意見の募集方法

郵送、持参、ファックスまたはメールにより、生活環境課までお寄せください。(電話での受け付けは行っていません。)

様式については、町ホームページからダウンロードまたは生活環境課で配布しています。

募集期間 1月3日(日)～1月22日(金)
※必着

提出先・問合せ

〒415-0392 南伊豆町下賀茂315-1
生活環境課 生活環境係
☎62-6270
FAX63-0018
✉ seikatsuk@town.minamiizu.shizuoka.jp

蜜蜂飼育届けについて

蜜蜂を飼育する方は、養蜂振興法第3条第1項に基づき年1回の県知事への届け出が必要です。ただし、花粉交配のみに蜂を使用し、かつ蜂が全て借りているものである方は、届出の必要はありません。届出手続きについては、下記のとおり申請書類を提出してください。

申請書類

様式第1号 蜜蜂飼育届

様式第2号 蜜蜂飼育状況等調査

提出方法 産業観光課に備え付けの届書に必要事項を記入の上、郵送または持参してください。

提出期限 1月15日(金) ※必着

提出先・問合せ

産業観光課 農林水産係
☎62-6300

下田高校南伊豆分校農芸祭のご案内

日頃の学習成果の発表や農産物販売、品評会を実施します。皆さまをお誘い合わせの上、ご来校ください。

日時・内容

・1月22日(金) 13:00～15:00

校内発表、農産物品評会審査

・1月23日(土) 9:00～14:00

一般公開・販売・品評会

*現在、一般の方々からも農産物品評会への参加者を募集しています。丹精込めて栽培した農産物を出品してみませんか。

問合せ 南伊豆分校(石井58)

☎62-0103

無料公証相談をご利用ください

身近な問題について「公正証書」を作成しておく安心です。

下田公証役場の公証人が、毎月第2日曜日に無料で相談に応じますので、ご利用ください。

日程 1月10日(日)、2月7日(日)

時間 10:00～15:00

場所 下田公証役場(下田市西本郷一丁目2-5 佐々木ビル3階)

相談内容 相続、遺言、任意後見、尊厳死宣言、離婚給付、年金分割、土地建物賃貸借、金銭貸借等

*予約制(事前電話受付)

申込み・問合せ 下田公証役場

☎22-5521

伊豆農業研究センター公開デー

日時 2月6日(土) 9:30～16:00

場所 伊豆農業研究センター
(東伊豆町 稲取3012)

内容 中晩柑新品種の試食会、試験研究新技術展、クイズコーナー、「賀茂十一野菜」の種苗の配布展示、生産物の販売等

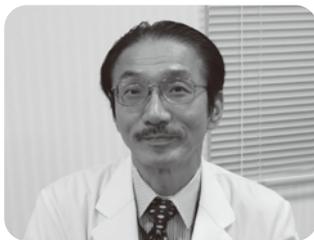
問合せ 伊豆農業研究センター

☎0557-95-2341

メディカル通信

新年のご挨拶

下田メディカルセンター
病院長 畑田淳一



新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、晴れやかに初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、去年は当センターに對しまして格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

下田メディカルセンターは、下田の地に移転してから4回目の新年を迎えることとなりましたが、私どもの母体が共立湊病院であつ

たことを忘れることはありません。それ故、南伊豆町から受診される皆さまには、特に愛着を感じて診療させていただいております。湊病院の頃と比べますと、やや遠方になって恐縮ですが、皆さまのご期待に応えるべく、職員一同誠心誠意努めて参りますので、本年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

☎ 下田メディカルセンター

☎ 25-2525



姉妹都市だより 長野県塩尻市

塩尻の冬の風物詩 「奈良井宿アイスキャンドル祭り」

塩尻市では、寒さが一段と厳しくなる冬の季節に「奈良井宿アイスキャンドル祭り」を開催します。

江戸時代から明治時代の面影を色濃く残す建築物が立ち並び、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「奈良井宿」は、冬の冷え込みが厳しく、マイナス10度を下回ることもあります。アイスキャンドル祭りは、この寒さを利用して地域を盛り上げようと地元有志によって始まった催しです。情緒あふれる約1kmのまち並みに、住民が手作りした約2,000個のアイスキャンドルに火が灯され、幻想的な空間を醸し出します。豚

汁のサービスや振る舞い酒など、心温まるおもてなしもありますので、南伊豆町の皆さんも、塩尻の冬の風物詩をご覧にぜひお出掛けください。

■日時 2月3日(水) 18:30頃～

☎ 塩尻市観光協会

☎ 0263-54-2001



戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
加納	山本 健 瑠	10.29	吉成・沙季
下流	樋口 結 人	11.6	欽一・久美

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
妻良	土屋 貞子	91	11.1
下賀茂	山村 豊	97	11.3
下流	平山つね子	88	11.5
加納	山本 薫	82	11.14
加納	鈴木さわ江	86	11.15
下賀茂	梅本恵美子	73	11.20
石廊崎	白崎ひろみ	53	11.23
石廊崎	渡邊 松子	88	11.28
湊	長谷川節子	75	11.28
市之瀬	佐藤 みよ	100	11.28
一條	石井一也	69	11.30

平成27年11月1日から11月30日までに届出のあったもの(敬称略)

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(12月1日現在)

世帯数 3,956世帯

人口 8,784人(-14)

男 4,209人 女 4,575人

----- (10月中) -----

転入 13 転出 16

出生 2 死亡 13

※住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日)により、外国人も含んでいます。

1月は、町県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。

税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。



まちの人

まめたいかい？
—シニアサロン弓ヶ浜—

島田 順子 さん

『シニアのみなさんの居場所づくり』を目的に、シニアサークル「まめたいかい？」を毎月1回開いています。映画鑑賞会からサークルを出発しましたが、ただ映画を見て帰るだけではシニアサロンらしくないと感じ、少しずつ方向転換し、今では歌やおしゃべり、時にはカヤックなど、アクティブな活動に挑戦したりしています。

この「まめたいかい？」の魅力は元気でアクティブな人が多いところです。毎回みんないきいきとした表情で、活動に参加しています。楽しいこと

をすると、気分も明るくなりますよね。このサークルは私の元気の源でもあります。また、会場も休暇村南伊豆ということで、皆さんお出かけをする気持ちで毎回参加していただいています。

男女問わず、シニアの皆さんの参加をお待ちしています。興味がある方は、ぜひ一度、サークルをのぞいてみてください。

日時 第3火曜日 10:00~12:00

場所 休暇村南伊豆 3階カンファレンスルーム

問合せ 島田 ☎62-1808



健康一口メモ

認知症予防のための生活ポイント

最近テレビ等で「認知症」の話題が多く取り上げられます。特にMCI（軽度認知障害）は、「最近の事が思い出せない」「同じことを何度も言う」「探し物が多い」等の段階で発見し、進行を防ぐために意識した生活を送ることが大切です。適切に対処すれば、アルツハイマー病への移行が抑制できると言われます。

【生活のポイント】

- 1 生活習慣病を放置しない（糖尿病・高血圧・脂質異常）
- 2 青背の魚、野菜を積極的に食べる
- 3 人づき合いを大切に、人に頼らない生活を
- 4 短い昼寝と適度なウォーキングや体操を

認知症について気になる方は、地域包括支援センターまでご相談ください。

問合せ 健康福祉課 ☎62-6233



スマイルキッズ



加納 山田 ^{いちか} 一華ちゃん（1歳6か月）

「おさんぽとくるまがだーいすき！」

広報みなみいず 1月号

発行日/平成28年1月1日

発行/南伊豆町 編集/企画調整課 印刷/㈱栄協

〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1

TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119

ホームページ

<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

明けましておめでとうございます。申年は「申」が「去る」という意味を表わし「悪いことが去る」「病が去る」など、いいことや幸せがやってくるという年、とする一説があるようです。

皆さまにとって本年が良い年になりますように。



広報みなみいずは、再生紙を利用しています。